

看護のこころと看護のわざで未来を拓く 充実したICTと実習施設

国立病院機構熊本医療センター附属看護学校



日高 道弘
学校長

熊本医療センター附属看護学校は、熊本市二の丸の場内にあり、政令指定都市の中心地にもかかわらず美術館・博物館がたえず緑ゆたかな恵まれた教育環境にある。日本有数の高度急性期病院である国立病院機構熊本医療センターの附属看護学校である。

◇実践重視のハイレベルな講師陣。現職の各科専門医による最新の臨床医学教育を行う。また、経験豊富な専任教員と、第一線で活躍するベテラン看護師が看護学を判りやすく教育している。

◇国立病院機構熊本医療センターが実習施設。高度急性期に特化したすべての診療科が揃い、180名の医師と700名の看護師が全面的にバックアップ。

◇教育設備と学習機能が充実。講義は、テキストや配布資料でタ

ブレットを使用し、各種シミュレーターなどICTを活用した教育を提供している。今年度は、新しくシミュレーションセンターが完成予定である。母体病院の図書館、各種シミュレーターを揃えたスキルアップラボセンターも活用でき充実した学習環境が整っている。

◇サクラマチバスターミナルから徒歩5分。通学が便利で、国立病院シャトルバスも1時間毎に巡回している。

◇学食では豊富なメニューを学生価格で提供。広大な展望食堂で仲間とのランチを乐しめ、喫茶ドトール、コンビニエンスストアも完備している。

◇卒業後は多数が国立病院機構へ。希望の公立病院、公的病院へ全員が就職できるよう全力で支援している。

日高学校長は「卒業後の看護師キャリアアップまで、一貫した教育を行っている。熊本の高度急性期医療を担う優秀な人材を育てたい」と語った。